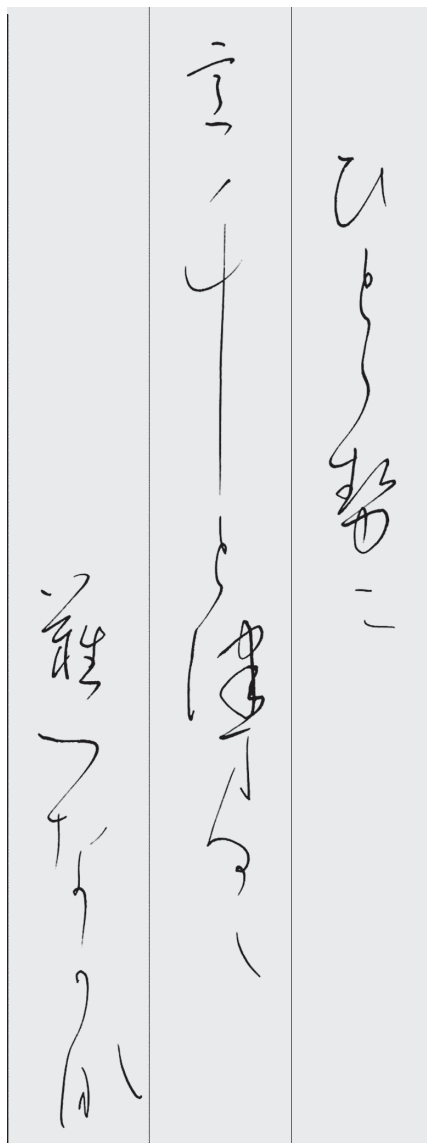


憲照先生の手本ア・ラ・カルト(11)
(à la carte)

締切り 十一月二十四日(必着)

昭和61年5月



つけペン・墨汁使用

〔古筆参考〕

勢^せ 勢^せ 勢^せ 勢^せ
 難^な 難^な 難^な 難^な
 那^な 那^な 那^な 那^な
 ひととせにいちどつまるゝなづかな

文字の変換・配字は自由です。

- ◎ 本会は、今年で創立六十六周年を迎えます。昨年はコロナ禍で、世界中が混乱に陥り、本会としても過去にない大打撃を受けました。しかしながら諸先生、会員の皆様の「書」への意欲は消えることなく、時間と共に基本的活動は戻りつつあります。
- ◎ この現状を踏まえ、今年の短期特別課題は、『原点回帰』をテーマとして、本会の創設者奥村憲照先生の手本を改めて学び直すことにいたします。お手本は、硬筆、毛筆、一般部、教育部なども合わせれば相当数あります。一種類を四ヶ月交替で掲載していく予定です。
- ◎ 多くの方がかつて憧れた憲照先生の書と向き合うことで、書への情熱を今一度燃え上がらせていただければと思います。
- ◎ 創立七〇周年に向けて、力強く歩んで行きましょう。

〔作品の出し方〕

- ▼ 今回も硬筆部だけに限ります。全員本会段位用紙に書いて下さい。硬筆を習っていない方も、出品は可能です。ご自由にどうぞ。
- ▼ 硬筆ならば用具は自由ですが、線美を追求のためには、つけペン・墨汁をお薦めします。
- ▼ 出品制限の対象とはなりません。
- ▼ 事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績を、作品余白にお書き下さい。
- ※ 不明な点は無記入でも結構です。
- ▼ 優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。
- ▼ 月例作品と同封する場合は、必ず別のビニール袋に分け、表に「月例」「短期特別」と明記して混同しない様をお願いします。

▼ 松尾芭蕉（一六四四～一六九四・江戸中期の俳人。伊賀の国、上野の武士の家に生まれた。それまで遊戯と考えられていた俳諧を、すぐれた文学に高めた功績は大きい）

ひととせに一度摘まるる 薺^{なづな}かな

▼ ふだんはペンペン草といって人に無視されどおしのなずなも、正月だけは七草粥に欠かせぬ菜として必ず摘まれる。年にただ一度だけ摘まれてもてはやされるなずなの宿命。思えば不思議でもあわれでもある。

※ 「なづな」は旧仮名づかいで、現代仮名づかいでは「なずな」である。

準初段から六段まで

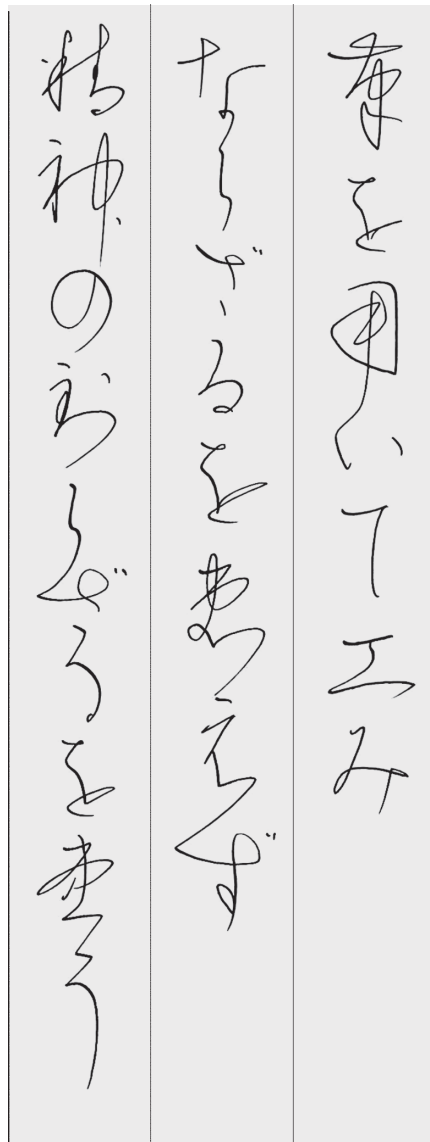
新入から1級まで

〔解説〕

〔読み〕筆を用いて工み ならざるを患えず 精神の到らざるを患う

軽く抜く
しっかりと
長めに
変化を
暢びやかに

▶教範・書範は右課題を「行書」で、師範は「楷書」で出書して下さい。



新井龍峰書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会段位用紙

〔解説〕

断 忍 耐 高 貴 質

性	も	決
質	っ	断
で	と	と
あ	も	忍
る	高	耐
	貴	と
	な	は

古田瑞苑書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会級位用紙

★決断と：（書体Ⅱ楷書）

ゲーテ（一七四九～一八三二）
ドイツの詩人・劇作家

失敗者の特徴は、決断を必要として
いる時にグズグズしたり、いたずらに
時間をかけます。

やっと決断を下しても、少いうまく
いかなかったりすると、すぐにやめて
しまうところにあるでしょう。

決断と忍耐には勇気が必要です。

◆12月課題予告（行書）

美を感じるのは
その人の心の
深さに比例する

★筆を：（書体Ⅱ行草または草書）

田能村竹田（一七七七～一八三五）
江戸時代の文人画家

竹田の画が出来上がるには、対象を
見では直し、見では直しと研究を重ね
る苦心が込められています。

それが完璧な描写になって表れます
が、竹田は精神修行者であり、それが
優れた書画や詩となって結実したの
ではないでしょうか。

◆12月課題予告（楷書）

盛衰の理は
天命といえども
あに人事に非ざらんや

▼教範・書範Ⅱ行草または草書

▼師範Ⅱ行書

準初段から六段まで

新入から1級まで

秋の山とところどころに烟たつ

烟多

秋の夕

秋の山とところどころに烟たつ

	い	
	い	秋
	る	の
り	と	山
ま	さ	
り	る	
ま	ふ	
つ		

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。

た なか き こう
田 中 貴 光 書

▷用具=自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会段位用紙

た なか き こう
田 中 貴 光 書

▷用具=自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会級位用紙

秋の山とところどころに烟たつ

(加藤 暁台)

〔句解〕山のあちらこちらは色づいてきて、すっかり秋の景色となった。青空の下、その秋の山のところどころに静かに煙が立ちのぼっている。

【鑑賞】へところどころに」というところから、その山は、そう小さくはない。かといって、そう大き過ぎもしないということがわかる。親しみ深い山間の風景である。〈烟たつ〉で、静かに立ちのぼる幾筋かの煙が見え、清らかに澄んだ山の空気が感じられる。平淡だが、味わいの深い句である。

〔古筆参考〕

登と
お
し
し
し

東と
东
东
东
东

尔に
ふ
ふ
ふ
ふ

耳に
ろ
り
り

堂た
書
書
書
書

〔解説〕へろろと連綿にする時は、

この最終画を欠落させて下の字に続けて柔らかく仕上げる。へーろつ↓こーろつ

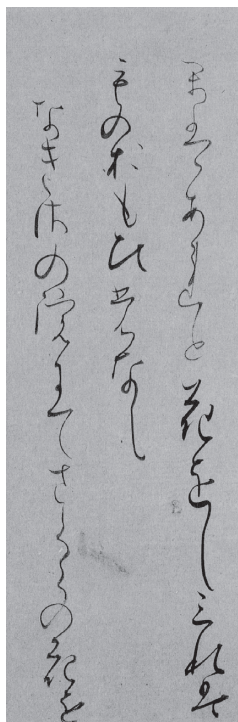
◆12月課題予告

ともしび
灯火のすはりて氷る霜夜かな

（まつおかせい）
松岡青蘿

〔古筆参考〕

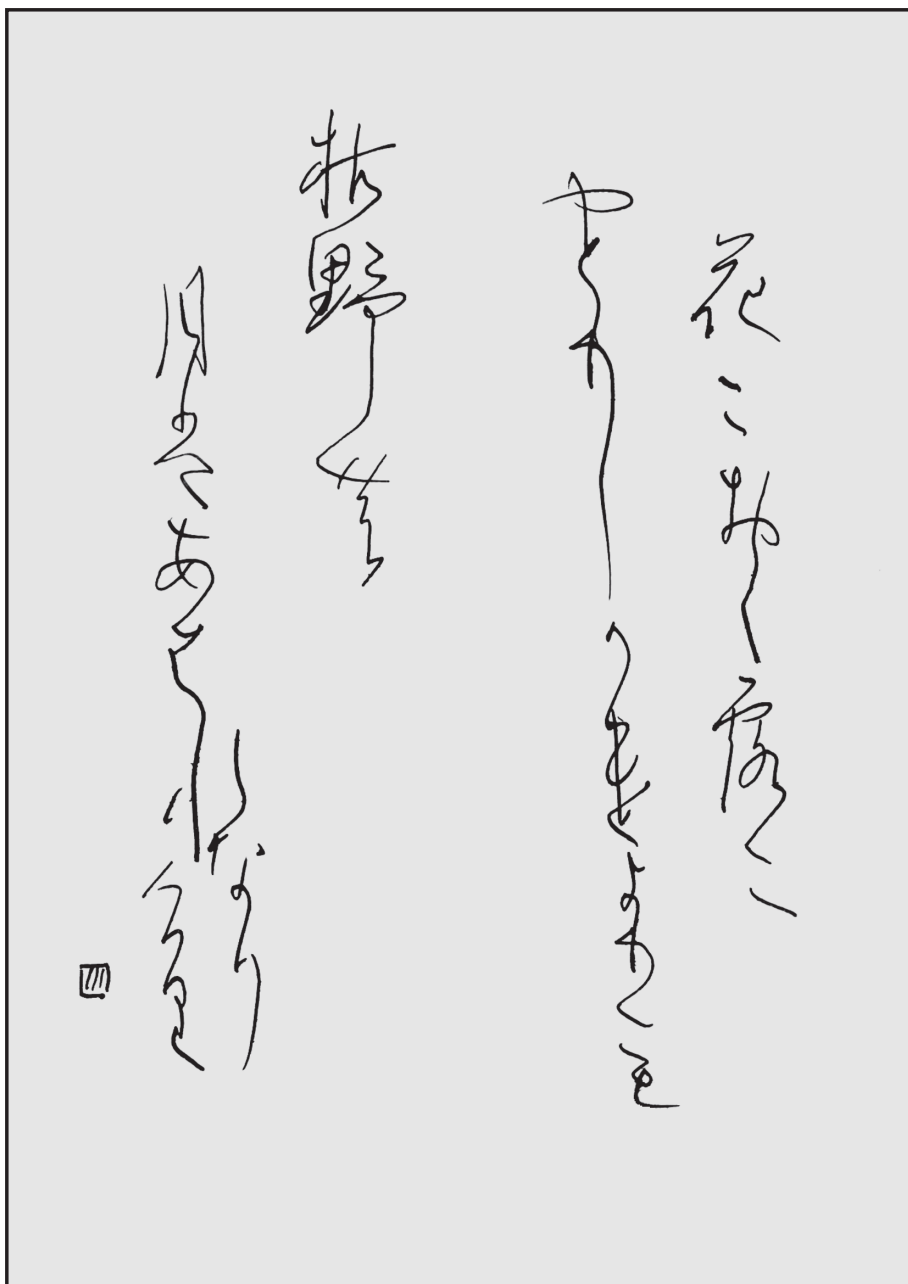
せき どん こん せん ふう
関戸本古今集



関盤連
かはあれど花をしみれば
毛於衆
ものおもひもなし
佐
なぎさの院にてさくらの花を

締切り 十一月二十四日（必着）

築瀬舟香書



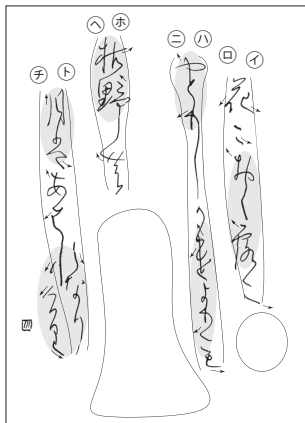
花に置く露に宿りしかげよりも
農者介里
枯野の月はあはれなりけり

〔歌意〕秋草の花に置いてとりどりの色を見せた露に宿った月の光よりも、草木も枯れはててしまった野を照らす冬の月の光は一層あわれ深いよ。

〔出典〕山家集

（新潮日本古典集成）

〔解説〕



- ・①と②、①と③、①と④、①と⑤、①と⑥、①と⑦、①と⑧、①と⑨、①と⑩、②と③、②と④、②と⑤、②と⑥、②と⑦、②と⑧、②と⑨、②と⑩、③と④、③と⑤、③と⑥、③と⑦、③と⑧、③と⑨、③と⑩、④と⑤、④と⑥、④と⑦、④と⑧、④と⑨、④と⑩、⑤と⑥、⑤と⑦、⑤と⑧、⑤と⑨、⑤と⑩、⑥と⑦、⑥と⑧、⑥と⑨、⑥と⑩、⑦と⑧、⑦と⑨、⑦と⑩、⑧と⑨、⑧と⑩、⑨と⑩、それぞれ呼応。
- ・○余白大切。

- ・●密の動き大切。
- ・↙指向性、線の方角大切。

◆12月課題予告

山ざくら初雪降れば咲きにけり
吉野は里に冬ごもれども

締切り 11月24日(必着)

この数日、冷たい雨が降り続き、冬の訪れの近いことを実感しております。先日は島崎藤村の詩をいくつか選んでみましたが、特に気に入っている初恋の詩を青墨で表現しようと構想を練っています。

この数日、冷たい雨が降り続き、冬の訪れの近いことを実感しております。先日は島崎藤村の詩をいくつか選んでみましたが、特に気に入っている初恋の詩を青墨で表現しようと構想を練っています。

※手本は水性ボールペン使用

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

横 書 き 課 題

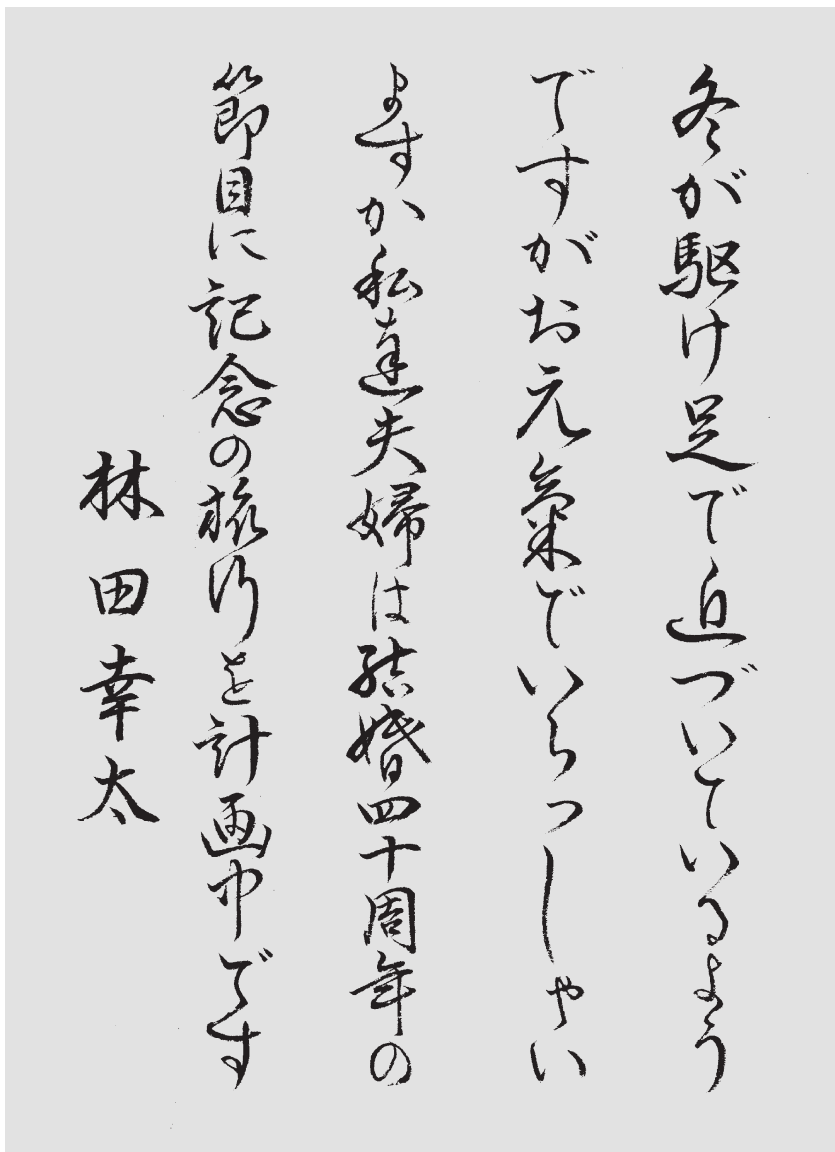
お 郷 すい こう 尾 郷 翠 光 書

毎年11月酉の日に行われる酉の市
は商売繁盛を祈る人々でにぎわう。
富山県砺波市 氏 名

※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

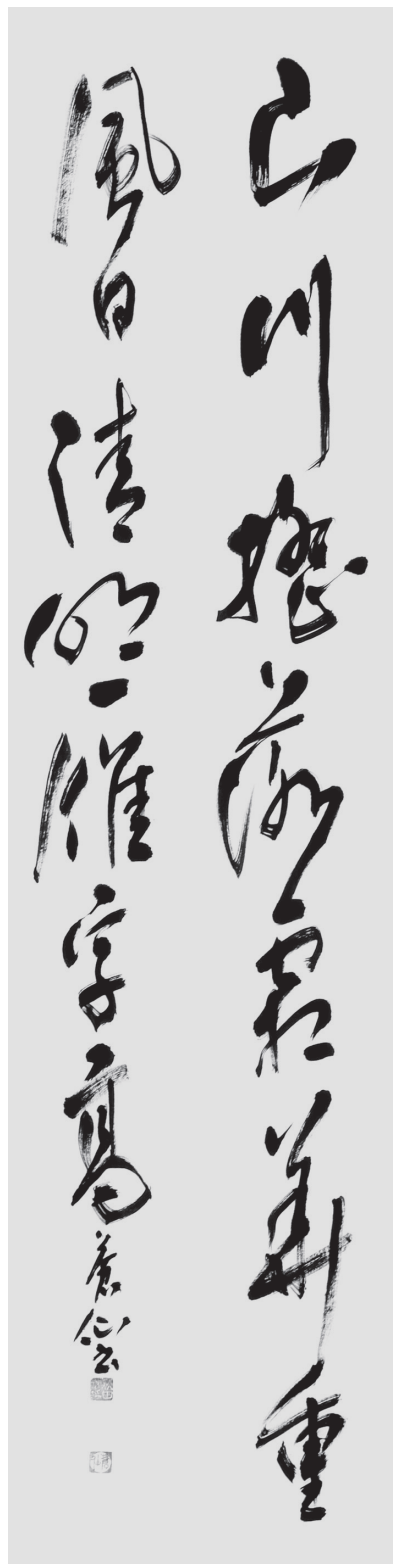
一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題



半紙 (334mm × 240mm)

書 香 梅 藤 伊



締切り 十一月二十四日 (必着) 半切 (一二六cm × 三五cm)

荻田蒼仙書

山川 悠子 氏 賀 年 重
風 日 清 明 雁 字 高

張 未

〔大意〕冬枯れの山や
川に霜が盛んに降り、
清らかで明るい風と日
の光の中に雁が空高く
飛んでゆく。

初出品の方へ

支部名・会員番号・
姓名・毛筆漢字成績
を、作品左下に必ず
お書き下さい。

〔条幅解説〕

昔、中国の先人は起筆を大切にし、研究したとの
事。筆の入る角度、穂先の振れ具合で多様な線を
表現、同時に芸事は人柄を磨き高める事にありと聞
く……大へんです。

冬が駆け足で近づいているよう
ですがお元氣でいらっしやい

ますか 私達夫婦は結婚四十周年の
節目に記念の旅りを計画中です

(ご自分の氏名)

・印で墨つぎしました。

〔条幅・細字作品の出し方〕

■ 新人から師範まで、どなたでも出書できます。

■ 成績(天位〜5等)は、評価により毎月かわり
ます。

■ 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

新入から1級まで(楷書)

澤

幸
寿
書

千峰黄葉村

せんほうこうようのむら
千峰黄葉村(藍智の詩)

〔大意〕千峰は千の峰々つまり山々のこと、黄葉は紅葉と同じで、周囲の山々が紅葉した美しい村があるという意味。

〔解説〕

千 峰 黄 葉 村

◆12月課題予告(行書)

冬来幽
興長

準初段から師範まで

須田一葉臨

樂 於 珠 林
忽 得

樂 於 珠 林 忽 得

樂 於 珠 林 忽 得

〔解説〕

〔出典〕集字聖教序（六七二）

〔筆者〕王羲之法書より集字

〔読み〕（瓦）磔を珠林に（標するこ
とを。）忽ち（米書を）得、

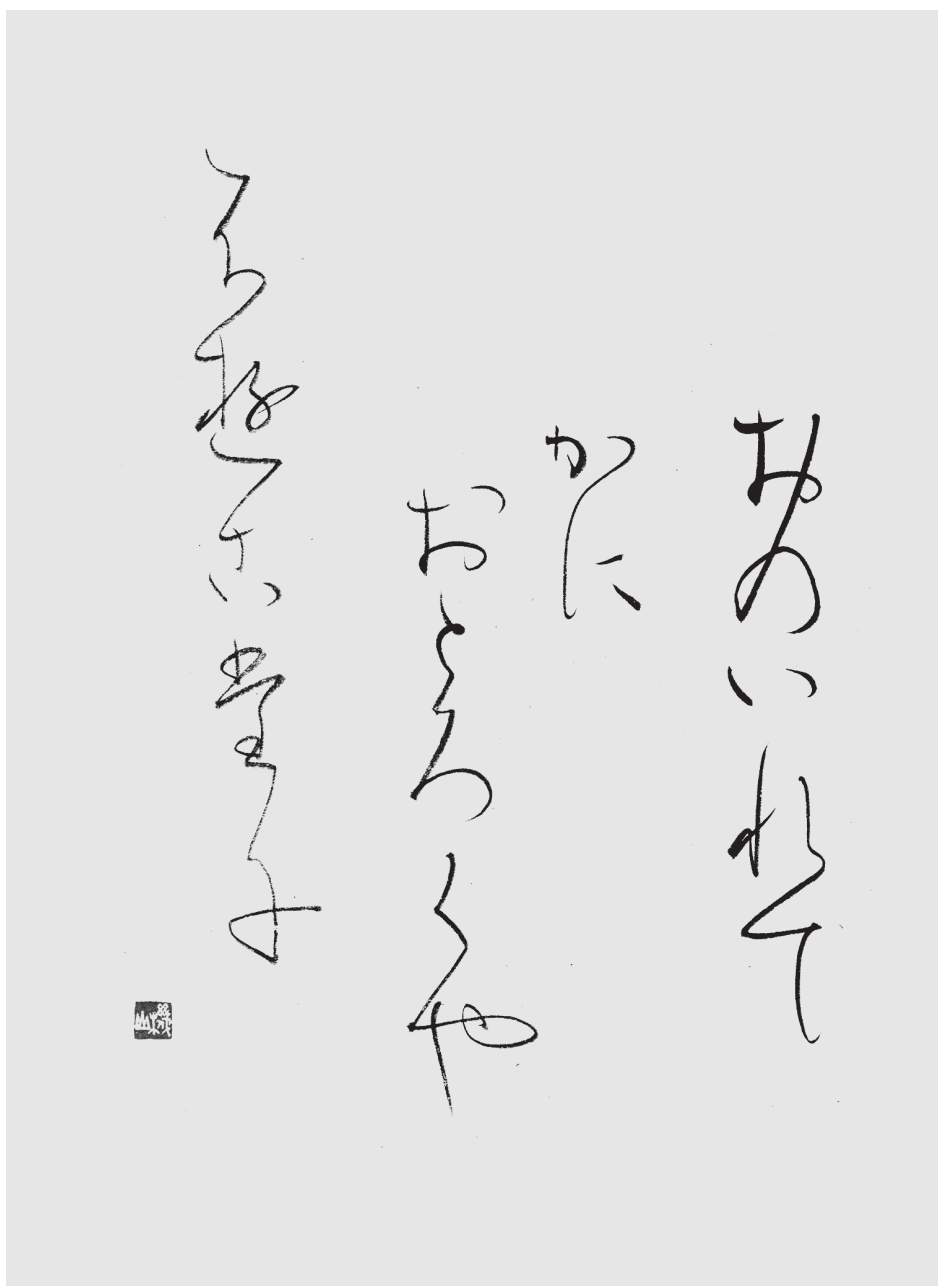
樂 於 珠 林 忽 得

◆12月課題予告

音 張 並
字 聖 教

新入から1級まで

浅井機山先生書



おのいれ
か
おとろくや
冬こだち

与謝蕪村

〔句意〕

落葉しつくした冬木立に、斧を打ち込むと強い木の香が立ち、改めてその生命におどろかされたことだ、の意。
冬木の生命感を詠んだ句。

◆12月課題予告

ながくと川一筋や雪の原

〔解説〕

まず全体を見てみましょう。

前3行は、上を3分の1ほど空け、第2行は2字書いて下を空け、第3行は前2行より半字下げて書き出し、行尾は第1行より下げています。

最後の変体仮名の行は、上へあげて書き出しています。全体の行尾の変化も見落とさないように。

それでは1行1行見ていきましょう。

「おのいれ」

「おの」「お」の点から「の」へ直線で連綿します。点は突いてバネを掛けたら、そのまま1、2のリズムで直線を引き続けます。直線だからといって、同じ速度で一気に引いてはいけません。1はゆっくり、2はスピードを上げて速くです。

「かに」

「か」、第1行の頭とほぼ揃えて書き出します。「か」から「に」への連綿線は、ゆっくり回って右の直線とは対照的にします。

「おとろくや」

「お」、第1行の「お」を気にしながら、優しくしなやかに単体にします。

「や」、右の余白を意識しながら、第1行の「れて」の連綿線を受けるように横線を引き続けます。

「不遊古堂干」

「不」、第1画で字形は右傾きになり、「遊」、で立て直し、

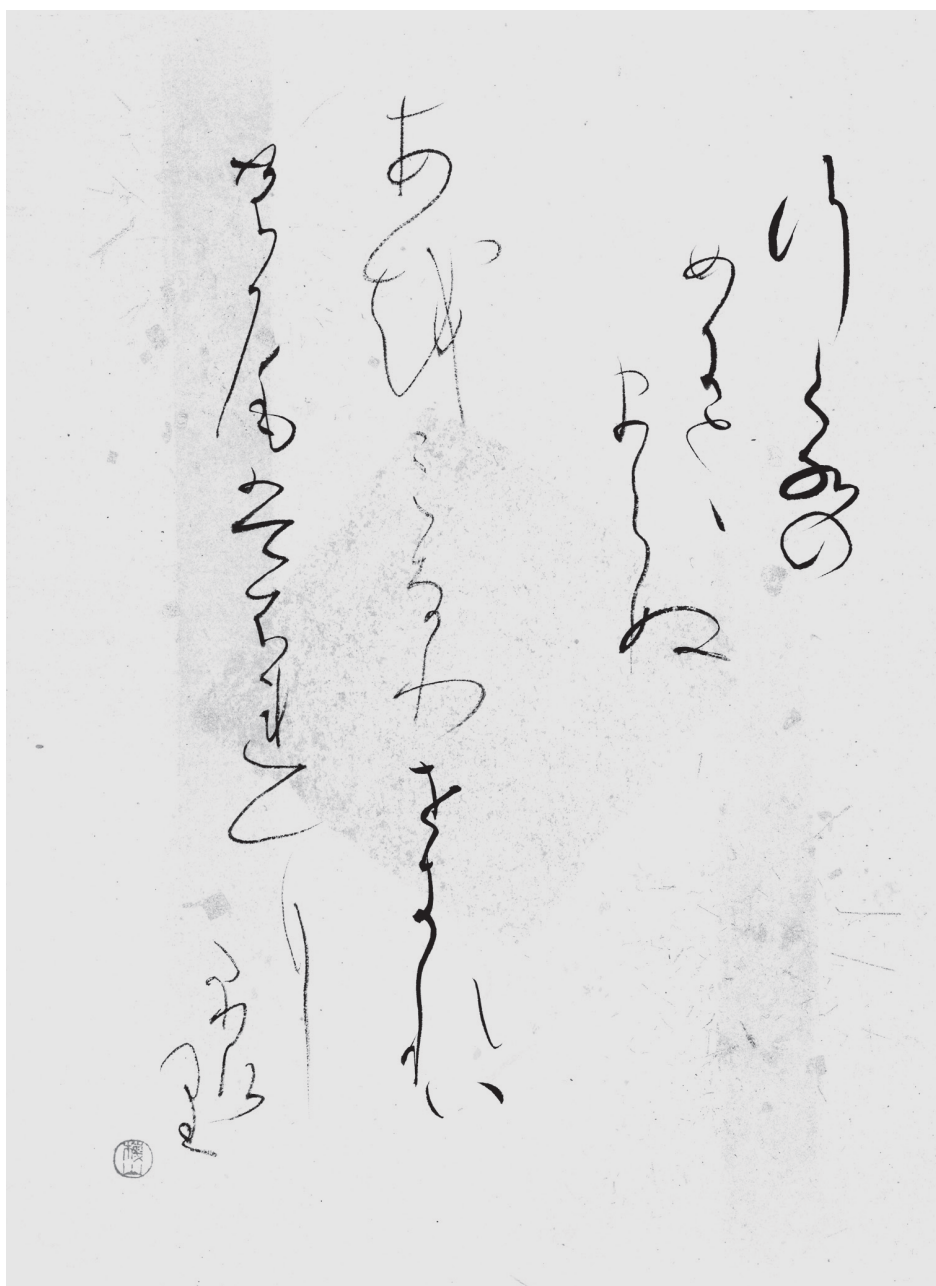
「古」、で安定させ、

「堂」、で左傾きに、

「干」、をゆったり書いておさめます。

準初段から師範まで

浅井機山先生書



行く水の目にとどまらぬ青水沫

世支れい農不連耳多利介里
鵲鴿の尾は触れにたりけり

〔歌意〕

溪谷を流れてゆく水の、目にとどまらず次々と現れては消える青い水沫よ。一羽の鵲鴿が飛んできて、その長い尾が、一瞬触れるのを見た。

◆12月課題予告

忍ぶれど色に出でにけりわが恋は

ものや思ふと人のとふまで

〔解説〕

料紙は、薄い楮紙に、ドーサ（滲み止めの液）をぬり、金の砂子、切箔、野毛を蒔いたもの（ここでは説明を省きます）を、打ち紙（紙面を木槌で叩いて平滑に）してなめらかにしたものです。

まず全体を見てみましょう。

短い3行を行間を狭めてまとめて宙に浮かし、次に行間を広げて、長い第4行、第5行を柱にします。最後に、下の方に4字を塊にして書き添えます。さて、1行1行見ていきましょう。

「行く水の」

力強く書き出します。

「めると、」

小さく書いて変化させ、

「まらぬ」

「まら」、小さく書き、「ぬ」、大きく書いて第1行を受けて3行を安定させます。

「あ越三奈わ世支れい」

「あ越」、墨がかすれてきて「越」を大きく書きます。「三奈わ」、カスレをゆったり書いて一息入れます。「世支れい」、たっぷり墨継ぎして反故紙で少し拭い、華やかな前3行を助けて強くしないように書きます。

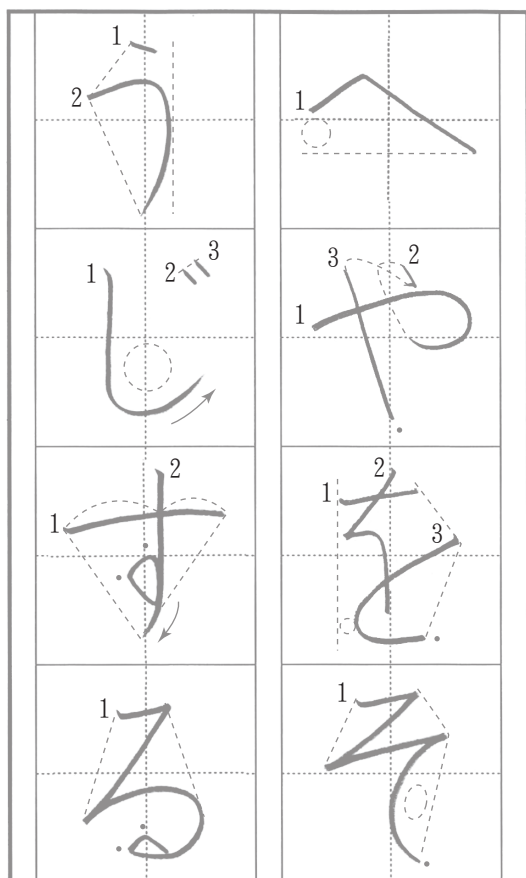
「農尾盤不連耳」

ゆったり書き進め、途中「盤」、でやや太くし、「耳」、はのびやかにします。

「多利介里」

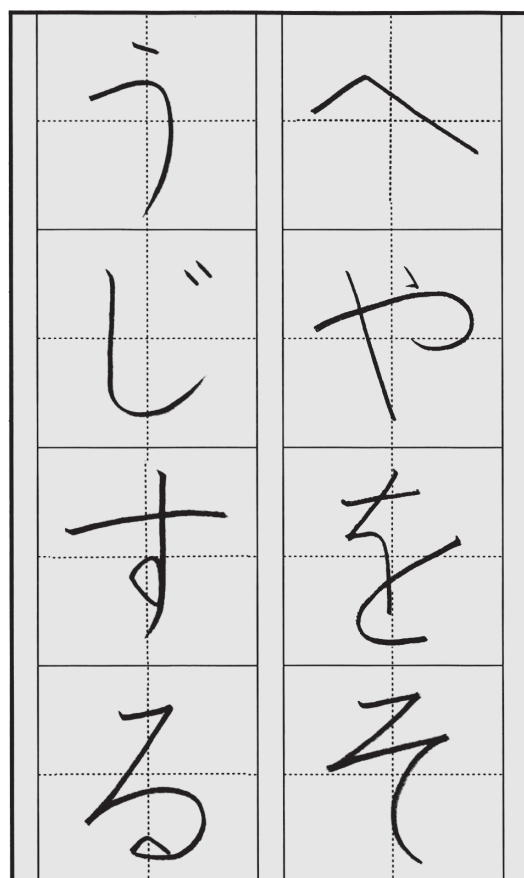
前3行と、「世」の墨継ぎをにらみながら、安定する位置をさがして書きおさめ、全体を安定させます。

〈ようぐ〉自由(黒色にかざる)



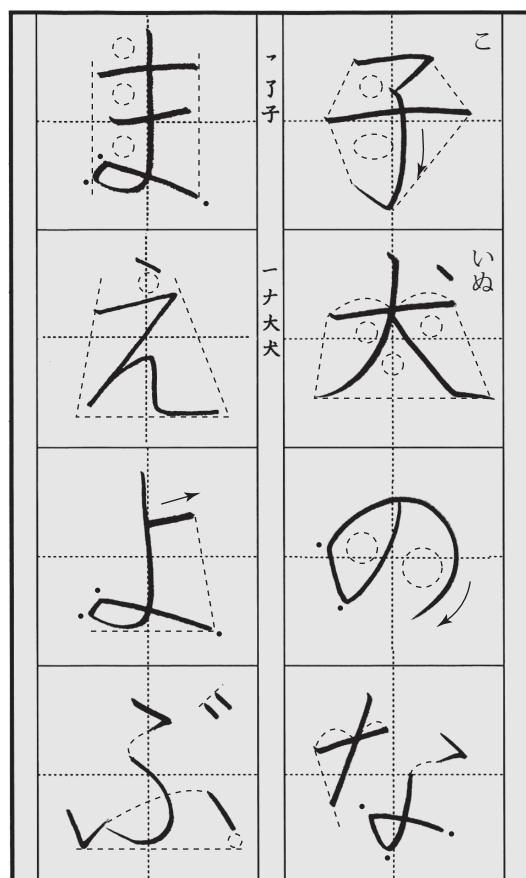
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



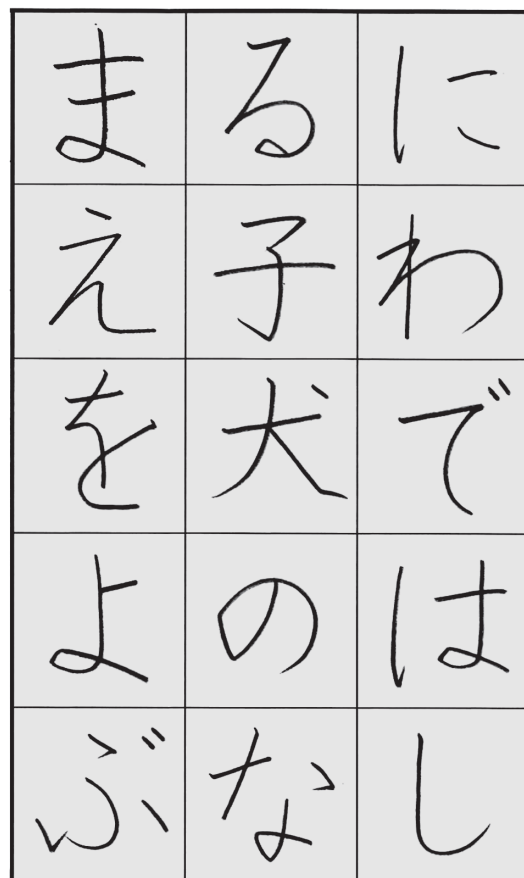
よ
う
年

幼年〜小三年まで
三宅容玉書



新入〜1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小
一
年

準初段以上

〈ようぐ〉自由(黒色にかきえる)

絵	四
日	月
記	か
を	ら

新入1級

は	日	四
じ	記	月
め	を	か
た	つ	ら
よ	け	絵

準初段以上

小二年

準初段以上

秋	虫
感	の
じ	声
る	に

新入1級

秋	た	外
を	ち	で
感	の	鳴
じ	声	く
る	に	虫

準初段以上

小三年

準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

〈用具〉自由(黒色に限る)

小	シヨウ 一十ナ古古	ふる
説	セツ 一十オ木本	ホン
買	か 戸屋屋屋屋屋	や
う		で

新入〜1級

小	気	古
説	に	本
を	入	屋
買	り	で
う	の	お

小四年

準初段以上

小四年以上
岡嶋桂川書

居	キヨ まき習部設設	セツ
建	ケン まき言言言計	ケイ
筑	チク 門門門図図図	ズ
始	はじめる まき如如如始始	シン

解説(よく見て習いましょう)

建	と	設
築	に	計
始	新	図
め	居	を
る	の	も

小五年

(全員)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

〈用具〉自由(黒色に限る)

見	芸
会	術
多	秋
開	展

解説(よく見て習いましょう)

く	展	芸
開	覧	術
か	会	の
れ	が	秋
る	多	は

小六年

(全員)

に	た	詳
意	情	し
見	報	く
交	を	調
換	基	べ

中二・三年

(楷書)

画	子	大
化	書	人
さ	籍	気
れ	が	の
た	映	電

中一年

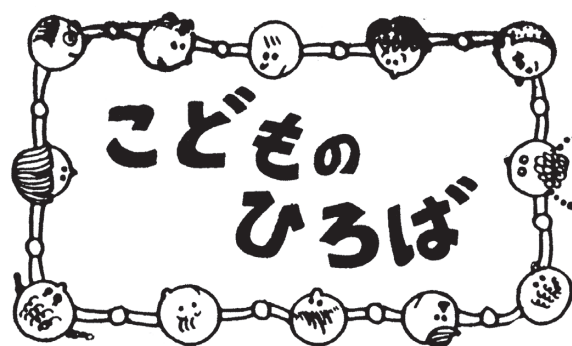
(楷書)

▼小三年以下の課題 田 中 愛 紅 書

ゴ	み	遊	近	い
ミ	ん	園	く	つ
拾	な	地	の	も
い	で	を		使
す				う
る				



◎お手本はえんぴつ使用

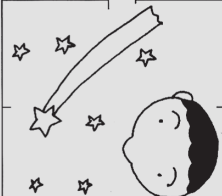


しめきり 11月24日(必着)

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよい。

▼小四年以上の課題 高 原 飛 水 書

願	見	一	夜	高
い	つ	筋	空	原
ご	け	の	に	の
と	て	流	現	
を	は	星	れ	
し		を	る	
た				

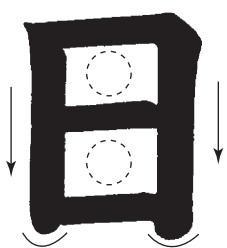


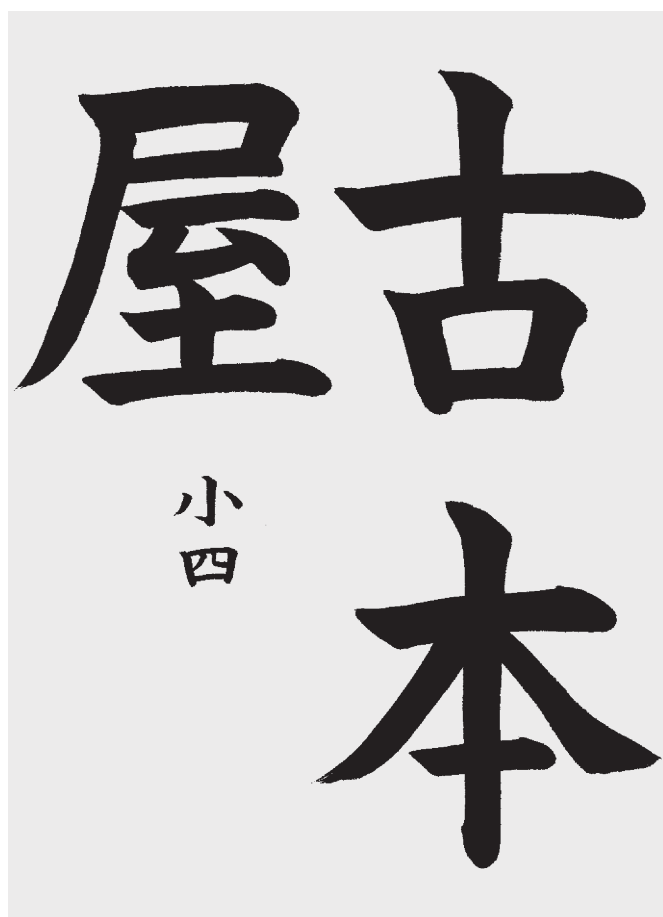
◎お手本はつけペン使用

◇作品の出し方

- 一、選定用紙(五行・四行)に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名(校名)学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。(黒色に限る)
- 一、四行用紙を使用してもよい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。







小三・小五年
水野碧友書

中二・三
交意
換見

小六
の芸
秋術

画
意
換
芸
術
映

中一
映人
画気

第121回 硬筆検定試験受験要項

11月24日締切り

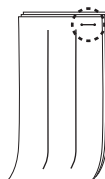
■受験にあたってご注意

▼検定受験者は、十一月のすべての硬筆月例競書をお休み下さい。（短期特別課題は出品可）

▼一覧表の最高昇段級位というのは、各コースで取得できる最高の段、級位を示したものです。現在この段級位にある人は、それ以上のコースを受験して下さい。

■出品方法

▼作品は、必ず一覧表に明示した順序にそろえ、右肩をホッチキスでとじて下さい。



ただし教範コースは、上から、①規定②かな③はがき④教育部手本課題（小一から）⑤小論文⑥書歴（初回のみ。詳細は本部へ問合せ）の順にそろえ、ゼムクリップでとじて下さい。

▼検定作品と月例作品を同封する場合は、必ず、二つのビニール袋に分けて入れ、表に「検定」「月例」と明記して混同しないようにお願いします。

▼支局・支部には「検定作品出品明細書」を十二月号配本時に同封しますから、所要事項記入の上、作品、受験料と同封して下さい。さらに、正確を期す上から受験者名簿を添付して下さい。

▼封筒に「検定受験」と朱書して下さい。

▼受験料は、為替か小為替で作品と同封するか、現金書留による送金に限ります。（振替、その他は不可）

●締切り 令和三年十一月二十四日（本部必着）

●送り先 大書心会検定試験係

●発表 令和四年二月号

▼肉筆手本希望者は、毎月裏表紙掲載の先生へ、現金書留（返信用封筒同封）でお申込み下さい。

（左記料金は、一点についての金額です。ただし、コピー手本・添削料は四割の価格といたします）

一般部三段コースまで（規定・かな）… 一、二〇〇円

規定 …… 一、四〇〇円

活字課題 …… 二、〇〇〇円

はがき・かな …… 八〇〇円

教育部 …… 八〇〇円

◆一般部1級・三段コース

コース	課 題	最 高 昇 段 級 位	課 題	規 定			かな	はがき	計	受 験 料
				楷 書	行 書	草 書				
一 般 部	1級コース	1級まで	下 掲 課 題 (級位用紙使用)	1	1	—	(イ)1	—	3	1,600
	三段コース	三段まで	下 掲 課 題 (段位用紙使用)	1	1	1	(ロ)1	—	4	2,100

▶か な……田 中 貴 光 書

▶規 定……奥 村 憲 照 先 生 書

課題（ロ）
段位用紙

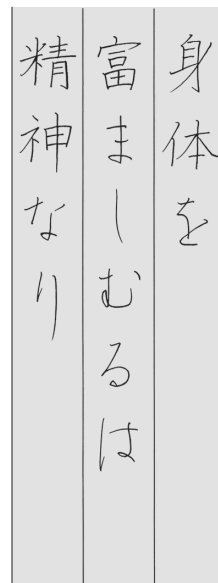
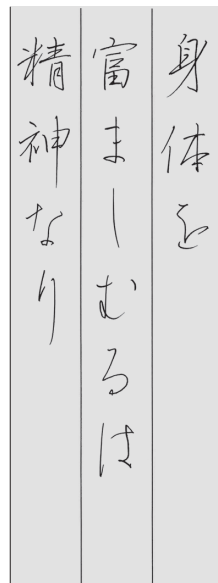
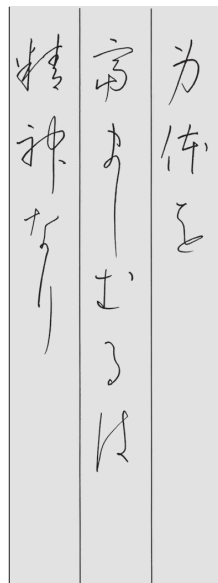
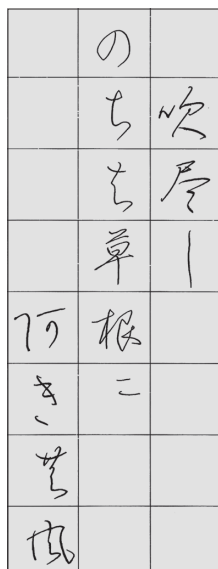
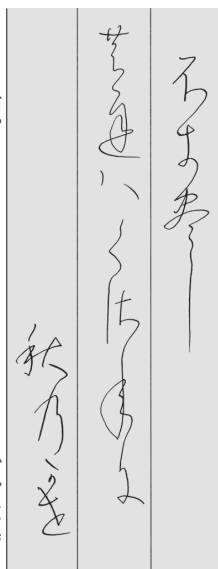
課題（イ）
級位用紙

《行草または草書》
段位用紙

《行 書》
段位用紙

《楷 書》
段位用紙

吹尽くしのちは草根に秋の風（加舎白雄）



◎1級コースは級位（マス目）用紙使用のこと。

◆一般部書範・教範コース

◆教育部普通・会友コース

◎師範試験は、毎年二月に単独で実施しています。

課 題 コース		受 験 資 格	最 高 昇 級 段 位	課 題	規 定			かな	はがき	計	受 験 料
					楷書	行書	草書				
一 般 部	書範コース	・有 段 者 ・支局・支部長	書範まで	下記3科目活字課題	1	1	1	(口)1	1	5	3,000
	教範コース	・書 範 ・支局・支部長	教 範	下記3科目活字課題 教育部手本課題 小論文(私の学習法)	1	1	1	1	1	10	4,200
教 育 部	普 通 コ ー ス	_____	11月しめきりの月例競書課題 ※筆記具は自由							1	420
	会 友 コ ー ス	・四段以上の中学生 ・準会友の小学生	11月しめきりの月例競書課題と下記活字課題(行書) ※筆記具は自由							2	740

◎筆記用具は自由としますが、教育部手本課題のみ指定があります。ご注意ください。

■書範・教範コース受験のきまり

- 一、書範・教範コース受験は、上掲一覧表のとおり
の受験有資格者に限ります。
- 一、教範コースは単位合格が認められますが、すで
に単位を取得されているも、受験の際は改めて
全科目(小論文不要)を提出して下さい。ただ
し、合格科目については、審査の対象から除き
ます。
- 一、単位合格は、二年以上検定試験を受験しないと
無効になります。

書範・教範コース課題

規定 両コース共通

●楷・行・草(行草)、三体提出(段位用紙使用)

人の長短は見易く

おのれの是非は

知り難し

かな

▼書範コース……前頁かな(口)課題(段位用紙使用)
▼教範コース……左記の和歌を、本会かな用紙に
ちらし書きにして下さい。

水の面おもに宿る月さへ入りぬるは
池の底にも山やあるらん(山家集)

はがき 両コース共通

過日、御地滞在中には一方ならぬ
お世話になりました。ありがとうございます
ございました。おかげ様で仕事も
万事都合よく運びました。二十日
午後、無事帰宅いたしましたので
ご安心下さい。まずはお礼まで。

(はがき用紙使用)

■教育部手本課題 教範コースのみ

●左記の学年で計四枚
用具＝えんぴつ

小 1
会 す
に も
出 う
た 大

小 3
楽 草 公
し 花 園
ま に で
せ 目 秋
る を の

用具＝鉛筆以外

小 4
て 放
い 牧
る さ
馬 れ

中 3
散 わ 木
る れ 曾
木 も 路
の 旅 ゆ
葉 人 く

(行書)

(注) 氏名は、各学年に合わせてお書き下さい。
(小1年はひらがなで書くなど)

小論文課題 教範コースのみ

▼題 名「私の学習法」

●四百字詰原稿用紙二枚(八〇〇字)以上
※原稿用紙二枚半程度にまとめるとよい。
※用具は自由。(鉛筆不可)

会友コース課題

▼十一月締切りの自分の学年の月例課題一枚
▼左の活字課題の行書一枚
計二枚を一組とし、右肩をとじます。

用具＝自由

記	象	毎
録	を	日
し	観	自
ま	察	然
す	・	現

(行書)

第81回 毛筆検定試験受験要項

12月17日締切り

■受験にあたってご注意

▼検定受験者は、十二月のすべての毛筆月例競書をお休み下さい。(短期特別課題は出品可)

▼一覧表の最高昇段級位というのは、各コースで取得できる最高の段、級位を示したものです。現在この段級位にある人は、それ以上のコースを受験して下さい。

■出品方法

▼作品は、必ず一覧表に明示した順序にそろえ、右肩をホッチキスでとじて下さい。

ただし教範コースは、上から、①漢字②かな③細字④教育部手本課題⑤条幅⑥書歴(初回のみ。詳細は本部へ問合せ)の順にそろえ、ゼムクリップでとじて下さい。

▼検定作品と月例作品を同封する場合は、必ず、二つのビニール袋に分けて入れ、表に「検定」「月例」と明記して混同しないようにお願いします。

▼支局・支部には「検定作品出品明細書」を一月号配本時に同封しますから、所要事項記入の上、作品、受験料と同封して下さい。さらに、正確を期す上から受験者名簿を添付して下さい。

▼封筒に「検定受験」と朱書して下さい。

▼受験料は、為替か小為替で作品と同封するか、現金書留による送金に限ります。(振替、その他は不可)

●締切り 令和三年十二月十七日(本部必着)

●送り先 大書心会検定試験係

●発表 令和四年三月号

▼肉筆手本希望者は、毎月裏表紙掲載の先生へ、現金書留(返信用封筒同封)でお申込み下さい。

(左記料金は、一点についての金額です。ただし、コピー手本・添削料は四割の価格といたします)
※条幅の原寸大のコピー手本はありません。

・一般部1級・三段コース

・活字課題

五段コース以上
会友コース以上

漢字半紙	一、二〇〇円
細字・かな	一、八〇〇円
漢字半紙	一、四〇〇円
細字半紙	一、四〇〇円
条幅	三、八〇〇円
細字	二、〇〇〇円
教育部	九〇〇円

◆一般部1級・三段コース

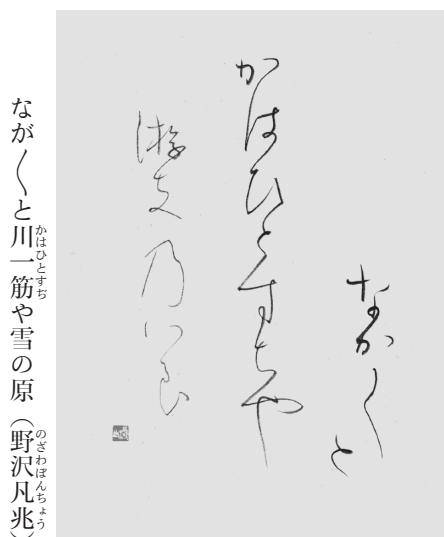
コース	課題	最高昇位	課題	漢字		かな	細字	計	受験料
				楷書	行書				
一般部	1級コース	1級まで	下掲課題	1	1	1	—	3	1,600
	三段コース	三段まで	22ページに掲載の漢字・かな・細字	1	1	1	1	4	2,100

〔1級コース課題〕

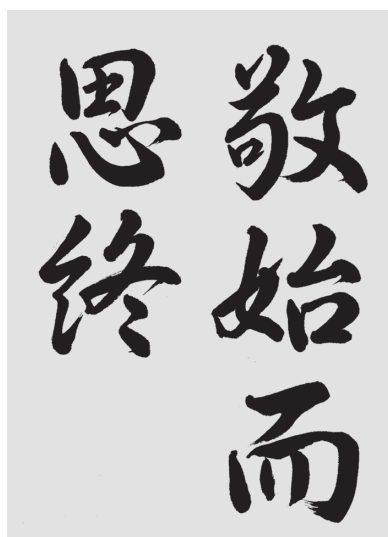
《かな》

《行書》

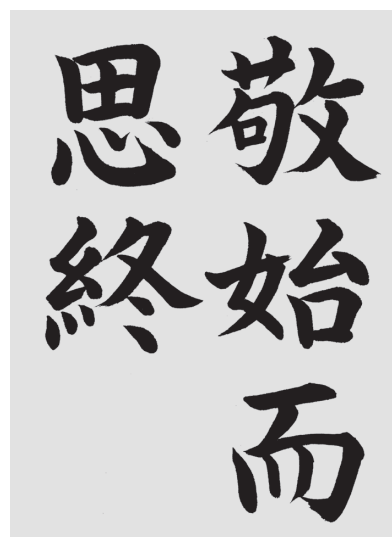
《楷書》



浅井機山先生書



澤幸寿書



◆一般部五段・書範・教範コース

◆教育部普通・会友コース

コース	課 題	受 験 資 格	最 高 昇 位	課 題	漢 字			かな	細 字	条 幅	教 育 手 本	計	受 験 料
					楷書	行書	草書						
一 般 部	五 段	有 段 者	五段まで	下記（活字）	1	1	1	1	1	—	—	5	2,700
	書 範	有 段 者	書範まで	下記（活字）	1	1	1	1	1	1	—	6	3,200
	教 範	書 範	教 範	下記（活字）	1	1	1	1	1	1	2	8	4,200
教 育 部	普 通	—	12月しめきりの月例競書課題									1	420
	会 友	四段以上の中学生 準会友の小学生	12月しめきりの月例競書課題と下記活字課題（行書）									2	740

◎師範試験は、毎年2月に単独で実施しています。

■五段・書範・教範コース受験のきまり

- 一、五段・書範・教範コース受験は、上掲一覧表のと
おりの受験有資格者に限ります。
- 一、教範コースは単位合格が認められますが、単位を取
得されていても、受験の際は改めて全科目を提出し
て下さい。ただし、合格科目については、審査の対
象から除きます。
- 一、単位合格は、二年以上検定試験を受験しないと無効
になります。

「五段・書範・教範コース課題」

漢 字

五段コース以上共通（半紙）

図版で示した三つの法帖の各六文字を、それぞれ半紙に
臨書して下さい。

▼孔子廟堂碑

雲 而 潤 江 海 斯

▼集字聖教序

前 聞 截 偽 續 真

▼書 譜

學 之 年 留 心 翰

■かな 三段コース以上共通（かな用半紙）

次の和歌を、かな半紙にちらし書きにして下さい。
◎忍ぶれど色に出でにけりわが恋は
ものや思ふと人のとふまで（平兼盛）
※22頁参照

■条 幅 書範・教範コース共通（画仙紙半切）

次の語句を、画仙紙半切に体裁よく書いて下さい。

松 心 鶴 性 清 如 水
とうせつばんうんともにろうかい
逗 雪 盤 雲 共 老 懷

■細 字 五段コース以上共通（半紙）

次の語句を、行書または行草体で体裁よく書いて下
さい。

冬至は子供達と沸かしたお風呂に
柚子を浮かべて入り温まりました
寒い季節を乗り越えられるように
毎朝の散歩も頑張っています

■教育部手本課題 教範コースのみ（半紙）

小 1 にわ 小 6 復 工 事 旧

※氏名は、各学年に合わせてお書き下さい。
（小1年はひらがなで書くなど）

■会友コース課題

成績

（行 書）

▼十二月締切りの自分の学
年の月例課題一枚
上の語句の行書一枚
計二枚を一組とし、右肩
をとじて出品のこと。

◆毛筆検定試験三段コース課題

《孔子廟堂碑》

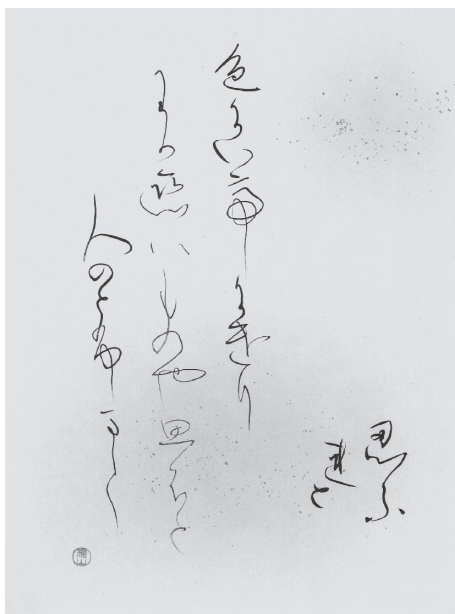
神谷葵水先生臨

而
冷
幽
動
風

而冷幽動風

《かな》

浅井機山先生書



忍ぶれど色に出でにけりわが恋は
ものや思ふと人のとふまで (平兼盛)

《集字聖教序》

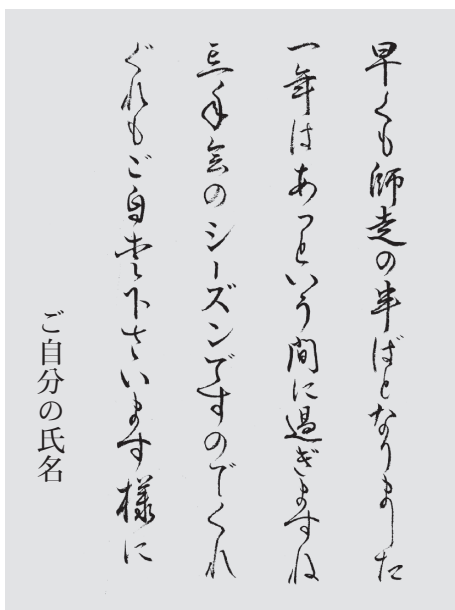
神谷葵水先生臨

分
條
折
理
廣
彼

分條折理廣彼

《細字》

伊藤梅香書



※かな・細字課題は十二月の月例課題を兼ねます。

認定証交付について

■昇段・昇級の証明や記念に、段級位認定証を随時交付しております。ご希望の方は、段級位、姓名を明記の上、左記認定料、送料を添えて本部事務局までお申込み下さい。

認定料

- ◆一般部（硬筆部・毛筆部別、一枚につき）
 - ・書 範……………一〇、五〇〇円（千六〇〇円）
 - ・段 位……………二、一〇〇円（千三〇〇円）
 - ・級 位……………一、〇五〇円（千三〇〇円）
- ※書範は額入り、他は筒入り。
- ※認定料は、上位の成績を基準とします。

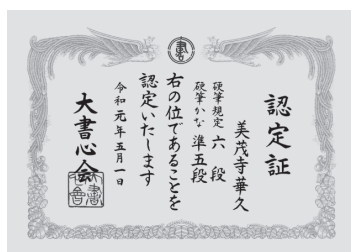
◆教育部（硬筆部・毛筆部別、一枚につき）

- ・準会友……………一、〇五〇円（千九一円）
- ・段 位……………五三〇円（千九一円）
- ・級 位……………三二〇円（千九一円）
- ※支部に所属の方は、支部長先生を通じてお申込み下さい。

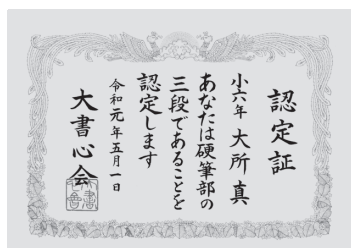
■会友認定料……………二、一〇〇円

■師範・教範免許料……………三七、〇〇〇円

（いずれも合格時納入）



〔例〕一般部硬筆（新形式）



〔例〕教育部硬筆

B4判

A4判